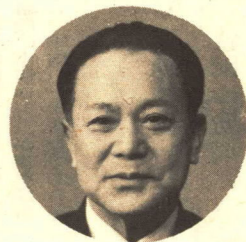


健全財政維持に配慮



三月八日に開会された市議会三月定例会で、中井市長は昭和四十九年度の予算案を上げると先立ち、新年度の施政の方針を明らかにしました。

中井市長は、この施政方針のなかで、総需要の抑制と公共事業の圧縮等による安定対策を図りながらも、社会福祉保障の充実、教育条件の整備を重点として市政を進めることを強調しました。内容は次のとおりです。

福祉と教育に重点

公共投資は極力抑制

本市が恵まれた立地とすぐれた環境のなかで、市民各位のたゆまない御努力と市政への御協力によって首都圏内における主要都市としてまた県西地域の中心都市にふさわしい伸展を遂げつつあります。

九十八億四千四百円に比し十七億六千万円、一七・八八％の増加となり、国庫支出金、市債等の特定財

源についても年度当初において見込み得るものは極力見込み、また競輪収入につきましても、前年度の実績を勘案し、二十八億円の繰り入れを見込んだのであります。

一方歳出におきましては、これら財源とにみあわせ、特に施策面で都市機能と生活環境の整備、社会福祉保障の充実、教育諸条件の整備を重点方向として市政運営に当たりたいと存じます。

次に行政各般にわたる主な施策の概要について概略的に申し上げたいと存じます。

社会福祉関係におきましては、国庫の施策と相まって福祉の充実を本年度の重点施策として諸施策を推進してまいりたいと存じます。

老人の独居サービスなど

《福祉生活環境の充実》

すでに御承知のとおり、数年来たす所存であります。また、最近から待望されておりました社会福祉センターにつきましては、本年三月一日に開館されました。乳児、老人、肢体不自由児福祉をはじめとして娯楽施設も兼ねた総合福祉施設としてその役割を十分に果たすものと確信いたしておりますが、運営にあたっては、今後十分配慮をいたしてまいりたいと存じます。また、この施設に独居老人を対象としたテレフォンサービス基地を設け、独居老人が安心して生活できるよう意を注ぎたいと考えております。

国保料を

改定

国民健康保険事業につきましては、医療費の改定、受診率の上昇等に伴い、医療給付費の増高をみており、保険財政はかなりの困難に直面しておりますので、一般会計の繰り出しを増額するとともに、市営住宅の建設を予定いたしましたのであります。

ごみ新処理場

建設に努力

ごみ処理問題は、いまやごみ戦争にまで発展し、社会問題となっております。本市では極力先行的に施設設備の拡充整備を図ってまいりましたが、今後の人口増と生活様式の多様化に伴う排出量の増加に対処するため、老朽化の著しい高速たい肥化処理施設を撤去し、その跡地と昨年関係者の御協力により確保できました隣接地とを利用して新たな処理場建設の早期実現に努めてまいりたいと存じます。

市街地再開発に基本構想

《都市基盤の整備》

かねて懸案の小田原駅前広場の路の築造をはじめ、県が計画実施する計画路線についてもこれが実現に協力して促進を図るほか、なお今年も引き続き東海道本線増設工事の進捗に伴う立体交差部分の建設促進を図りたいと存じます。

水道料を

一部改正

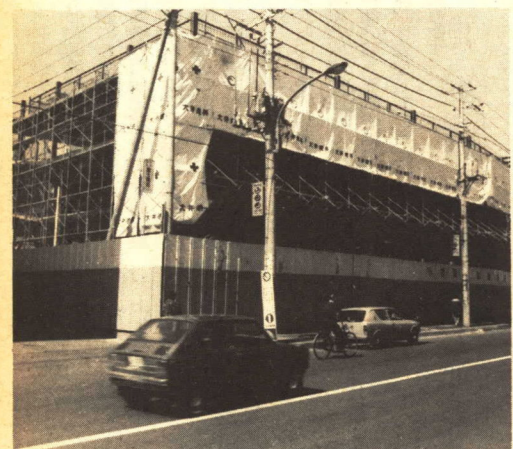
一方、上水道の整備につきましまして、第三期拡張事業計画の九年目にあたり、この間、高田浄水場の建設、送配水管路等の整備を図ってまいりましたが、本年度は取水開始が予定されております神奈川県内広域水道企業団による酒匂川取水事業に歩調をあわせ、前年度から引き続き酒匂川地区の配水施設の建設、酒匂川の水質改善工事を進めるほか、水需要の増大に対処できるような措置をいたしたいと存じます。しかしながら、本年度においては、給水原価の増高等により一般会計からの財源補てん措置をいたしましたが、財政上やむを得ず一般家庭特に小口利用者への影響を極力配慮しながら水道料金のとせられております。本市において

河川および、排水路の整備につきましては、それら流域の宅地化等に伴う都市化現象に対処するため、昨年度に引き続き、酒匂川を準用河川に指定しましたので、護岸の整備と管理を一層強化する一方、酒匂川排水路は三排水路を改修すると

一方、下水道事業につきましては、公共下水道事業における処理区域内の水処理促進に努め、し尿の合理的な処理体制を推進したいと考えております。なお、し尿処理手数料については出来るだけ据え置きよう努力いたしてまいりましたが、最近における人件費等の高騰により、し尿収集委託料の増額を余儀なくされ、これがため若干引き上げざるを得ない実情であります。

緑化の条例を

制定



完成近い栄町の立体駐車場

病院機能を増進

裏に続く

